

ロンドントレーニーレポート ～イギリスでの難民受け入れ反対デモについて～

2025年は、イギリスにおいてロンドン中心部に10万人以上が集まる大規模なデモが行われるなど、難民受け入れ反対のデモが特に多い年だったと思います。自宅の向かい側に、デモが頻繁に行われるホテルがあり、間近でその様子を経験する機会がありました。今回はそのデモについて紹介します。

1 背景（～2025年7月）

アフリカなどからの難民にとって、言語面や経済水準の理由からイギリスは人気の高い目的地です。フランスに到着した難民の多くは、違法なブローカーを通じてグループでボートを利用し、イギリス海峡を渡ってイギリスに入国していました。こうしてイギリスに到着した難民は政府に難民申請を行い、結果を待つことになります。

自宅隔離などが行われていたコロナ以降、難民申請者がホームレスになることを防ぐため、イギリス政府はホテルでの一時受け入れを開始しました。宿泊費は1泊あたり少なくとも100ポンド（約21,000円）で、これをイギリス政府が負担することから、国民の間で不満が高まっていました。さらに、2025年7月にはホテルに滞在していた難民申請者による性犯罪が報道され、世論の反発が一層強まりました。

2 デモの始まり（2025年7月～8月）

7月中旬から、難民申請者の滞在先として知られるThe Bell Hotel（ロンドン北東部・エッピング）やBritannia International Hotel（ロンドン東部・カナリー・ワーフ）の前で、週末を中心に難民受け入れ反対デモが始まりました。これらのデモはニュースでも大きく取り上げられ、参加者は毎週増加しました。一方、「難民受け入れ反対」に反対するグループも近くでデモを行い、対立は一層激しくなりました。

3 近くで経験した難民受け入れ反対デモの様子

デモ参加者の中には、家族連れや子どもを連れて参加する人もいました。特に目立ったのは、イングランド人としてのアイデンティティを示すために、セントジョージ旗（イングランド国旗）を掲げる人が多かったことです。

さらに、難民受け入れ反対団体によるものと思われますが、全国的に街灯にセントジョージ旗が飾られました。この旗は「難民受け入れ反対」の象徴となってしまったことから、撤去を求める住民もいましたが、一方で撤去に反対する住民の声もあり、最終的に旗は撤去はされず、そのまま残されました。日々、過激なデモの様子がテレビや新聞などで報道されていましたが、住民の安全確保は徹底されており、通勤や日常生活においても、身の危険を感じる場面は一切ありませんでした。



カナリー・ワーフでのデモの様子

4 ホワイトホールでの大規模なデモ（2025年9月）

これまで各地で分散して行われていたデモは、9月にロンドン中心部のホワイトホール（ビッグベンやウェストミンスター寺院周辺）で開催され、約10万人が集まる大規模なものとなりました。この際、警察への暴力など過激な行為も発生しました。

ロンドンでは顔認識カメラや警察のボディカメラが広く使用されており、過激な行為に及んだ参加者の顔は記録されました。翌日からBBCが容疑者の写真を公開し、警察は身元の特定と逮捕に向けて迅速に対応しました。さらに、スターマー首相も、これらのデモを批判する声明を発表しました。



ロンドン中心部の顔認識カメラ

5 イギリス政府の対策とその後

イギリス政府は、大規模なデモなどの世論の反発を受け、難民申請者をホテルで受け入れる措置を中止し、代わりに軍事施設で収容する方針を発表しました。また、フランス政府との間では「1人入国、1人送還（※）」という合意を結ぶなど、対策を強化しました。さらに、過激なデモに対して警察が徹底した対応を行ったこともあり、ホテル前でのデモは急速に縮小しました。10月以降はホテル前に人が集まることはなくなり、常駐していた警察の姿も見られなくなりました。

街に掲げられていたセントジョージ旗もクリスマスを機に撤去され、代わってクリスマスの飾りが街を彩るようになりました。ロンドンには平和が戻ったように感じられますが、12月からは難民申請者の受け入れが予定されている地方の軍事施設の前でデモが始まっています。今後も、イギリス政府の対応や世論の動向について注目していきたいと思います。

※イギリスが不法入国した難民申請者1人をフランスに送還するごとに、イギリスで合法的な方法で難民申請を行った1人の滞在を認める仕組み。



セントジョージ旗が飾られた街中
(2025年8月)



セントジョージ旗が撤去された街中
(2026年2月)

(イギリス・ロンドントレーニー BYUN JUNHO)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalleter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。